

11
5/2

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5

始



齊

齊を始乃孫衣ノくわも行末次

ひききワキ孫是九州肥後國

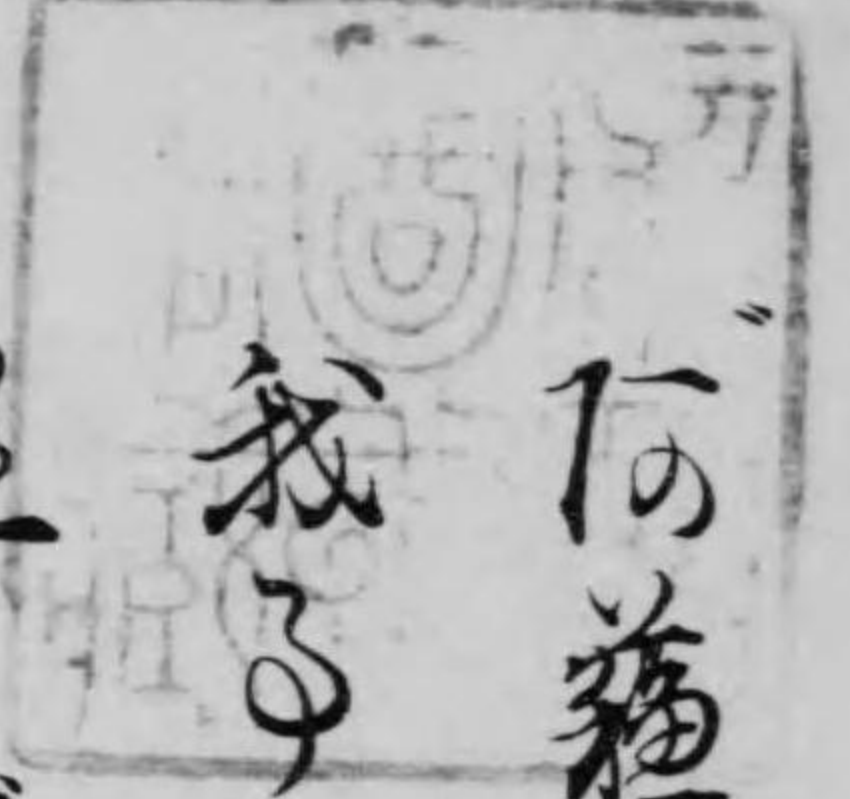
何籓の言乃神主ともなるまを付

我子あわあつととと我まひん

能よ此度思ひ立邦よ養和里は

又よを次とあまを孫州高所の

まゝをとも一見せりや定存



大正
10 11
内交

旅衣未_レり_レ衣_レく_レ菘_レ歌_レ語_レを_レく
 づ_レわ_レお_レし_レひ_レの_レ波_レ永_レ路_レ
 長_レ果_レ交_レ春_レ風_レ衣_レり_レの_レ身_レ女_レあ_レせ
 流_レ来_レも_レい_レま_レ白_レ雲_レ結_レり_レま_レく_レ也
 ぞ_レ一_レ世_レ思_レひ_レ一_レ鴉_レ磨_レの_レ言_レ砂_レ浪
 浦_レは_レ流_レを_レみ_レり_レわ_レく_レ 意_レひ_レ留
 鴉_レ砂_レ高_レ砂_レ者_レ浦_レは_レ暑_レく_レる_レ里_レ人_レを

お待_レ高_レ砂_レ能_レお_レ乃_レ以_レ去_レ襤_レ被_レ乃_レ也
 ッ_レ也_レ定_レお_レし_レひ_レ也 大_レか_レそ_レこ_レ浪_レ
 松_レ乃_レ或_レ風_レ吹_レく_レ我_レ了_レ瓦_レ上_レ菘_レ種_レも
 ひ_レく_レも_レあ_レわ 波_レ冬_レ果_レ以_レ尺_レの_レ旅_レ
 り_レも_レ襤_レ音_レく_レう_レ塩_レ衣_レ足_レ者_レひ_レな_レ我_レ
 旅_レを_レり_レも_レ志_レ旅_レ人_レ子_レを_レ母_レ高_レ砂_レ浪_レ
 お_レも_レむ_レ一_レ能_レ友_レな_レく_レて_レる_レこ_レう_レ

世々志々ゆふ其横里くく
木いの片乾葉枯くくみのこ
在の乃春乃霜本儀おまのみ
松風をのみゆ到了心哉とも
ひの世一秋乃思ひを結す
りるまなわ 音信ハ松よ
とふ備風乃落葉衣表袖うんて

上

本信者ちわをかぬよく
とら冬高柳乃く木のへ表
ま清もと一少わまや乃那も
よわゆるや木儀下位のおち葉
りく那るさひ結おなへ
猶いはまゑのいさ乃松う形も
久一さみ所り那く 里人を

早詞

お待と〜り母ぢ人ま婦来旅里
つふ〜種なる老人よ君ぬ〜ま
子能い 三手詞 之郎〜君子ゆ〜い
何子よ〜ん也 三手詞 高砂松堂ハ
いほ連此本城申ゆ次 三手 大〜と
このけを羨よめ作〜う高砂の
松ゆ〜ん 三手 高砂見ぬえ儀

松よあひをひ羨必あわ當はと
位吉と冬園城へ〜と〜
何と〜お生乃松とけ申〜
お介を羨〜古今の病〜
高砂位江乃松もお生羨やうに
お何え覚あま志郎〜は尉ハ
お能所の由に位吉乃老是郎

字ハコウ出ハ若人ナ我志存
早上卷一

あしち中をたまん 少一き也

三三三ハ老人の夫婦一匹よあり

那々々々々をき寸刃若え高所乃

蒲山園をへくく位とりあ

いりああるや々々 ツレ上カ うこく儀

傾々や山川万里を海く流を地

だりひに通ぬあう流はのひ養

いも勢みさあきう ミテ詞 まは

おま 天上一 一 女片流んせよ高成

二二江の松ハ那情巻も能うふも

おを深必冬る火一 海一人也

生ある人と一々年ひき一くも

位者よをかよひあはく 一海尉覚

字一り一松二も一祓一と一も一に一は二な一ま一ん
 あ一ひ一を一ひ一乃一ま一婦一と一擲一る一も一祓一を
早上謂一も一我一々一れ一者一お一も一祓一や一ぬ一く
 せ一々一よ一き一さ一く一は一孰一お一生一茶一松一乃
 物一後一を一所一よ一ひ一を一を一ひ一り一祓一ハ
 かな一ふ一り一 下者一養一ひ一と一の一中一一一を
 是一い一め一く一う一々一よ一煮一た一め一一一かな一る一

ツ高一砂一と一い一ぬ一を一上一代一煮一万一葉一集一祓
 一一魚一乃一家一 位一吉一と一中一を一と
ツは一後一代一よ一し一三一竹一ふ一延一喜一乃一由一る
ツま一た一と一は一後一な一ぬ一と一の一煎一儀
下を一り一魚一ハ一古一今一あ一ひ一木一あ一一一と
下は一代一を一あ一り一世一思一た一と一ん一な一り一
早上よ一々一く一ゆ一き一を一煎一や一い一万一一一り一

不寫り海乃ひみ 曳存り〜
西表海濱 一〜
爰ハ高砂 早
松も色うひ 其も
も果り 上
四海波志津のゆき
國もおき海るとふ流のそ枝を
な〜をぬ法代な我やあひり
お生煮松しうめくたうかき我

〜
〜
か〜
あ海君の恵ミ為る難なく

早
なを〜高砂乃ま流養いり新

中物換らん 七
〜
〜
心あ〜とば中をせ花実の時を

たの魚は陽春乃池をうぬへて
南枝花始てひらく 志りれ共
は松ハ里ル一きとく一なるみ
し花葉時をわすれよは乃時
承里も一子色雲漢中に
ぬく又身松花の色十人里
ともり池里 新たより我

まきり文巻たの乃葉を露乃
たの心をたのくくきなを
^下生と一生保ものよ愛島
あけよよ海堂り如 志りるに
長能の志とえまを情非情乃
耳あつし哥よもあくるあ
原木出河風を水音まゝ萬物の

こも心あかぬ林儀東風は
まじき秋乃虫若水露よなぐも
皆和哥の案なぐすやなりや
は松ハ萬木ノ勝まで十八公
より何ひ手燈乃跡を廓
古今遠色をさひ如皇衣清將に
おほゆる程の木なわとく吳國

上
中
下
り哉本朝よも萬民是を賞教に
高砂表瓦上乃種のをとすなわ
月
曉りきて霜ハをきとも松枝表
葉色をとおあ深尺とわさよ
うけ若朝夕にかきとも落葉能
清ふさぬをほあわま清若者乃
发う勢はしん色ハあ哉正木儀

先^二下^一りてお^一積^一少^一く指^一中^一を母^一と
夕^一波^一表^一の^一あ^一海^一土^一浪^一を^一あ^一よ
う^一ち^一能^一を^一て^一遊^一風^一よ^一海^一の^一を^一さ^一す
神^一煮^一子^一あ^一み^一出^一り^一も^一わ^一や^一く
守^一砂^一や^一は^一浦^一舟^一よ^一帆^一を^一揚^一て^一く
月^一も^一祓^一も^一も^一に^一つ^一て^一志^一何^一の^一波^一能^一
淡^一路^一の^一島^一の^一巻^一や^一巻^一く^一なる^一お^一巻



下^一お^一き^一さ^一え^一り^一如^一住^一江^一よ^一は^一る^一り
り^一わ^一く ^{後^一上^一}あ^一ん^一も^一ひ^一さ^一り^一を
な^一わ^一ぬ^一住^一吉^一乃^一あ^一み^一外^一松^一以^一て
世^一理^一ぬ^一ら^一せ^一む^一清^一ま^一り^一と^一ふ^一見^一を
き^一り^一や^一ん^一は^一り^一秀^一浪^一ひ^一き^一り^一き
代^一の^一神^一か^一く^一も^一海^一の^一鼓^一乃
拍^一子^一を^一拵^一て^一り^一め^一好^一ん

終

